



ほり ぐち じゅん や
堀 口 順 也



こうめいとうぎいんだん
公明党議員団

国保に加入する個人事業主等に傷病見舞金を

問 財政支援により、国民健康保険加入者が、新型コロナウイルス感染症に感染するなどし、療養のため働くことができなくなった場合、給与受給者には、標準報酬日額の2/3に相当する傷病手当金が支給されている。

しかし、個人事業主は、この制度の対象になっていない。

市独自の支援制度として、個人事業主等へ見舞金の支給を。

本市においても今後研究していく

答 市では、国の特例的な財政支援を受けて国民健康保険の傷病手当金の制度を運用しているが、この制度は、被用者を対象としていることから個人事業主は支給対象外となっている。

個人事業主は被用者と異なり、療養の際の収入減少等の状況も多様であることや、資金繰りなどにおける月次支援金など、別の制度があるためと考えられる。

しかし、他市において、個人事業主等への傷病見舞金の制度を創設しているところがあることから、津市においても今後研究していく。

●その他の質疑・質問●

- 64歳以下の新型コロナワクチン接種の状況は
- 12歳以上の小中高生等を対象とした優先接種の考えは
- 65歳以上の新型コロナワクチン未接種者への再勧奨を
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策における危機管理部の役割について
- 不織布マスク等の備蓄品の配布について

■ マスクやフェイスシールドの効果 (スーパーコンピュータ福井によるシミュレーション結果)

対策方法	なし	マスク	フェイスシールド	マスク+フェイスシールド
行き出し用減率	100%	20%	18-34%	50% ^{※1}
戻り込み用減率	100%	30%	55-65% ^{※2}	60-70% ^{※3}

※1 小さな集団に対しては効果なし
※2 はアロゾムを吸わない
※3 効果はマスクの種類により異なる

出典：国立大学法人豊橋技術科学大学
作成：株式会社全音楽譜出版社
2020年10月15日発表

▲デルタ株流行対策として不織布マスクの着用を



やまじ さくり
山路 小百合



しみん
市民クラブ

新型コロナ罹患回復者の体験を活用すべき

問 新型コロナウイルス感染症に罹患し、回復された方やご家族からの情報は、自身の体験を通してのリアルな情報である。ホームページや広報で掲載する等、活用することにより、独りで抱えている悩みや不安の解消ができ、また、感染防止にもつながると思うし、長きにわたりご尽力いただいている医療従事者への感謝を伝える場にもなると考えられるがどうか。

何ができるかという部分について考えていく

答 新型コロナウイルス感染症患者の個人情報については、三重県が管理しており、市では知ることができない状況にあるが、回復者の方が実体験を発信していただき、それをご覧いただいた市民の皆さまが日常生活において、新型コロナウイルス感染症に対する意識を持っていただくことは重要なことである。

発信に当たって一番に危惧されるのは、匿名性の確保であり、まずは他団体で行われている先駆的な取り組みについて研究し、何ができるかという部分について考えていく。

●その他の質疑・質問●

- (仮称)津市行政の公正公平の確保に関する条例(案)について
- 小・中学校における端末の先行研究を活かした現在の取り組みと今後の展開について
- 線状降水帯等大雨の対策について
- 近年の異常気象に対する対策は
- 土砂崩れに対する対策は



▲新型コロナウイルス罹患回復者のリアルな情報活用を